

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

なお、さらに詳細な内容を「[ユーザズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

警告：人が死亡する、または重傷（※¹）を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：人が軽傷（※²）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※³）のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

（※¹）重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中絶など後遺症が残るものおよび治療入院や長期の通院を要するものを含しています。

（※²）軽傷：治療入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを含しています。

（※³）物的損害：家屋、家財および家具、ペットなどにかかわる拡大損害を含しています。

図記号の説明		
■ 警告・注意を促す記号 一般注意 発火注意 感電注意 高温注意 破裂注意	■ 行為を禁止する記号 一般禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 水ぬれ禁止 風扇等での使用禁止 火気禁止	■ 行為を指示する記号 一般指示 電源プラグをコンセントから抜く

警告

電源

- 100V ACの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷ついたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをせたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。

- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
- ACアダプタにものをせたり布を掛けたりしないでください。

- 本商品に添付のACアダプタは日本国内100V AC(50/60Hz)の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態で使用ください。
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。

- ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体およびACアダプタ）

以下の場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c、d、eのようないいかたはしないでください。

- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき

- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落したりしたとき
- 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関連する医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したしないでください。

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、周囲に十分なスペースを確保してください。また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きや横置きしないでください。

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐくついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
 <悪い例>
 ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 ・じゅうたんや布団の上に置く
 ・テーブルクロスなどを掛ける
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグ（形状によっては AC アダプタ本体）を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。70 秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さしないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされしう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなりますが、使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

●自動バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
 なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（※ 表面「クイック設定 Web の起動方法」）

【更新があったら、すべてバージョンアップする場合（工場出荷時の設定）】

【メンテナンスバージョンアップ機能】：ON
【時刻指定バージョンアップ機能】：ON
【重要な更新のみバージョンアップする場合】
【メンテナンスバージョンアップ機能】：ON
【時刻指定バージョンアップ機能】：OFF

※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「[詳細な項目を表示]」－「[詳細設定]」－「その他の設定」画面（プリジューモードまたは中継機／子機として使用する場合は「基本設定」－「基本設定」画面）、[時刻指定バージョンアップ機能]はクイック設定 Web の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」画面にて設定できます。

※ [時刻指定バージョンアップ機能] では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加 / 変更を行います。意図しない機能追加 / 変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする）に変更することができます。

※自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。

※「重要な更新」とは、NEC プラットフォーム株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。

重要な更新がある場合は、事前に当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続に則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続と同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（ON）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（OFF）にしてください。（「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にする、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」になります。）ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。

<ファームウェアのバージョンアップ手順>
1. クイック設定 Web を起動する（※ 表面「クイック設定 Web の起動方法」）
2. ホーム画面の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」をクリックする
3. 「ファームウェア更新」の「更新」をクリックする
※「ファームウェア更新不要」の画面が表示された場合は、ここで終了です。ログアウトをしてクイック設定 Web を終了してください。

4. メッセージ画面が表示されたら、内容をよく読んで「[OK]」をクリックする
5. 「ファームウェア更新中です。XXX 秒ほどお待ちください。残り XXX 秒。」と表示されるので、そのまましばらく待つ

●保守サービス機能は、本商品に対してインターネットを介して保守を行う機能です。保守サービスの際には、本商品に関する機器情報・ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報が当社に開示されます。これらの情報は、保守サービスのためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続に則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続と同様に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただけないと、本機能が利用可能となります。
※保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

電波に関する注意事項

●本商品は、技術基準適合証を受けています。
●本商品は IEEE802.11ax の Draft 準拠製品です。現行の技術基準に則り、技術基準適合証を取得しています。
●Draft IEEE802.11ax（5GHz 帯）、IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯の電波の屋外での使用は電波法により禁止されています。
●5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac
Draft IEEE802.11ax
J52
W52
W53
W56
・W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）、
W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）、
W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。

5GHz 帯に接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

・W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
・W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
・W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）

- W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの家電・科学・医療機器のほか、他の同種無線機、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用屋内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 (1) 本商品を使用する前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の放射を停止）してください。
 (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。

- Bluetooth 機器との通信はできません。
●IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回波可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS-SS/OF
DS/OF
IEEE802.11b/g/n
2.4
・2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4
・規定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■■
・全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回波可能であることを意味する

●本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「ユーザズマニュアル」を参照してください。）

- デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
 ・デュアルチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
 ・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。が、この装置がラジオやテレビジョン受信機に干渉して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI－B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

＝ ー ー ー：直流

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされたソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを手入力、GPL または LGPL にしたがひ、複製、頒布および改変することができます。詳細は「[ユーザズマニュアル](#)」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（伊羅子往への役務提供者を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをおこなってください。

ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。本商品に接続した端末の情報や、ご利用開始時の状態から変更した無線の暗号化キーなどの情報が、第三者に漏洩しないよう、本商品を初期化してから廃棄することをお勧めします。（故障等で初期化ができない場合を除く）

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- 本書の内容に於いては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については完全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り・記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本商品の故障、誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を造したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば雷害や雷電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

本商品の取扱説明書について

本商品の取扱説明書について

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。（2024 年 2 月現在）

- つなげかたガイド（本書）**
 基本的な接続（ケーブル）を例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載されています。

- ユーザズマニュアル（Web サイトに掲載）**
 商品のさまざまな機能を利用してできることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。また、本商品の基本事項についても記載しています。
 → 右記 QR コードまたは下記から参照してください。
 サポートデスク（※ 右記「お問い合わせ・保守サポート」）－「マニュアル」－「ユーザズマニュアル」

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載します。

- この欄に該当し、お客様にて設定しなおす内容が消失します。なお、初期化をする前に、クイック設定 Web（ホーム画面）の「詳細な項目を表示」→「メンテナンス」→「設定値の保存& 復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同画面にて復元することができます。（ただし、管理者がパスワードは復元できません）
- ※ 解決しない場合は、本商品を初期化（※ 下記「初期化方法」）し、はじめるか設定し直してお試しください。

- **CATV（ケーブルテレビ） 図線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず。インターネットに接続できない**
 ご使用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの電源で電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直します。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社へご確認ください。

- **ACTIVE ランプが橙色に点灯している**
 故障や通信エラーではありません。ブリッジモード（ルータ機能停止）で動作している状態です。（本商品を中継機／子機としてご利用の場合は、親機と 2.4GHz 帯の Wi-Fi で接続している状態です。）

- **クイック設定 Web が開かない**
 ● ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
 ● Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
 ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。
 ● Web ブラウザの設定でキャッシュを使用している場合、キャッシュの削除を試みてください。
 ● 無線 LAN の設定で「無線 LAN 機能」が「ON」になっている場合は、「無線 LAN 機能」を「OFF」にしているネットワーク名（SSID）に接続、または有線接続してください。

初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。暗号化キー、管理者パスワードは初期値に戻り、お客様にて設定しなおす内容が消失します。なお、初期化をする前に、クイック設定 Web（ホーム画面）の「詳細な項目を表示」→「メンテナンス」→「設定値の保存& 復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同画面にて復元することができます。（ただし、管理者がパスワードは復元できません）

- 本商品のPOWERランプが緑点灯していることを確認する
 ※ 電源を入れた直後や電源を入れた直後の場合は、約70秒お待ちください。
- RESETスイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など。）で押し続け、POWERランプが赤点滅をしばらく放す
 ※ POWERランプが赤点滅をはじめると約6～10秒かかります。
- 本商品からACアダプタのプラグを取り外して、10秒以上待つてから差し込む
- 約70秒待つ
 ※ 前面のランプが赤点滅になったら、POWERランプが緑点灯したら初期化が完了します。本商品が起動するまでしばらくお待ちください。

お問い合わせ・保守サポート

■ ホームページ「サポートデスク」

https://www.aterm.jp/support/wx1500hp/index.html

・Atermの機能、操作、設定についてご不明な点がある場合は、サポートデスクを参照してください。サポート情報の閲覧やソフトウェアのダウンロード、「[QSA]」でご不明な点の検索などができます。
・「故障かな?」と思われる場合は、本書に記載の「トラブルシューティング」をご確認ください。
・Aterm インフォメーションセンターの窓口については、サポートデスクの「お問い合わせ」をご確認ください。

■ 保守サポート期間

・本商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品、以下、保守部品）は、販売終了後、約 5 年間保有しております。
 保守部品の保有期間（以下、保守期間）が終了しますと、修理受付や添付品の販売受付も終了いたします。また、電話などによるお問い合わせサポート業務も終了させていただきます。あらかじめご了承ください。
 保守期間の確認は、「Aterm のサポート期間について（https://www.aterm.jp/support/inquiry/hoshu_list.html）」を参照してください。

■ Aterm は、NEC プラットフォーム 株式会社 の登録商標です。 ■ Wi-Fi、Wi-Fi Alliance および WPA3 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。 ■ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ■ Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 ■ Chrome と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。 ■ Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。 ■「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。 ■ その他、各会社名、商品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。 © NEC Platforms, Ltd. 2021-2024 NEC プラットフォーム 株式会社 の許可なく複製、改竄、および複製物を転写することはできません。